

指定管理者に関するモニタリングシート

1 施設の概要

(モニタリング実施年度: 令和 8 年度)

施設の名称	市民プラザ(日下・四条・中鴻池・若江岩田駅前・楠根・布施駅前・近江堂)	指定期間	7 年度～ 11 年度
施設所管所属	市民生活部 地域活動支援室	指定の方法	複数施設を一括指定管理
設置目的	地域の特性を生かしながら、本市と市民が協働してきめこまやかなまちづくりを推進し、地域活動の活性化と市民サービスの向上を図るため設置。		
施設内容・業務内容等	市民自らの活動の場を提供し、地域の特性を生かした個性豊かなまちづくりを推進する。施設の維持管理と貸室等施設利用。		
指定管理者	大林F・ShoPro共同事業体	連絡先	06-4964-1643
人員体制	正規職員 4 人	パート・アルバイト 54 人	その他 0 人

2 管理運営状況等

年度		実績				今年度(予算)	次年度(見込)
		令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	令和 10 年度
管理形態		別団体による指定管理	別団体による指定管理	指定管理	指定管理	指定管理	指定管理
供用(開館)日数		331or332or333or334or335	335or336	335or336	335or336	335or336	335or336
指定管理委託料(千円)		272,444	271,597	271,396	274,220	281,645	
利用状況	1 利用件数(件)	28,590	28,805	28,179	補足説明	令和7年4月より利用料金制に移行、加算制度(営利・市外)導入	
	2 年間利用者数(人)	352,435	352,337	339,823	補足説明	工事によりホールの閉鎖あり(四条30日、中鴻池9日)	
	3				補足説明		

3 モニタリングの総括

施設ごとに定める評価事項((i)重視していた事項、(ii)要改善事項、(iii)期待水準・当初提案を大きく上回った取組、(iv)期待水準・当初提案を大きく上回った成果)及びチェックシートの評価から点数を算出し、下記のとおり評価する。

総合点が95点以上をS、80点以上94点以下をA、60点以上79点以下をB、60点未満をCとする。

4(i) 重視していた事項	5 点	/ 10点		
4(ii) 要改善事項	-3 点	/-10点		
4(iii) 期待水準を大きく上回った取組	1 点	/ 5点		
4(iv) 期待水準を大きく上回った成果	0 点	/ 5点		
5 チェックシートの総括	78 点	/ 80点	総合評価	A
上記の合計(総合点)	81 点	/100点		
総評 (全体評価や今後の課題)	協定書及び事業計画書に基づき、施設の管理運営は概ね適正に実施されている。利用者アンケートを踏まえた施設設備の改善、企画運営委員会と連携した事業の実施、多様な利用者に配慮した施設運営など、利用者へのサービスの向上に向けた取組が積極的に行われている。また、危機管理体制の整備や個人情報保護及び情報セキュリティ対策についても適切に実施されている。一方で、利用者数は目標値を下回っており、利用料金収入や施設稼働率の分析結果を踏まえた具体的な利用促進策及び効果検証について、更なる取組が求められる。今後は、分析結果に基づく効果的な広報活動や利用促進策を展開し、更なる施設の活性化と利用者満足度の向上に期待する。			

4 施設ごとに定める評価事項

下記(ⅰ)～(ⅳ)の項目は、施設の状況に応じ、所管所属において自由に設定
(所管所属の評価がモニタリングの総括に反映)

(ⅰ) 所管所属が特に重視していた事項

評価対象年度(R7年度)において 特に重視していた事項・取組	施設所管所属コメント	評価点
利用者ニーズを踏まえた施設環境の改善及び利用者サービスの向上	利用者アンケートや意見・要望を踏まえ、床面補修、空調設備の改善、可動壁の修繕等を実施している。また、まんがLiving・ラーニングルームの新設など、利用者サービスの向上に積極的に取り組んでいる。	3
利用促進策の実施	ホームページやSNSの刷新、パンフレットのリニューアル、施設内モニターを活用した情報発信など積極的な広報活動を行い、稼働率の低い施設で自主事業を実施し、施設の知名度の向上を図っているものの、実際の利用には結びついていない。	2

<評価基準>

5点:大変よくできている
(目標をはるかに上回る達成)
4点:よくできている
(目標を上回る達成)
3点:できている
(おおそ目標どおりの達成)
2点:目標・要求水準には達していない
が、取組は大いに評価できる。
1点:目標・要求水準には達していない
が、取組は少なからず評価できる。
0点:目標・要求水準には達しておらず、
取組も評価できない。

(ⅱ) 要改善事項

主な改善指示事項(過年度からのものを含む)	施設所管所属コメント (該当あればその内容を記載)	評価点
報告書類の正確性及び提出期限の遵守	一部の報告書類に誤りが見られたほか、提出期限を超過した事例があった。今後はチェック体制を強化し、適正な事務執行に努められたい。	-3

<評価基準>

0点:改善し、求めている状況・水準以上になった。
-3点:改善しているものの、求めている
状況・水準には達していない。
-5点:改善していない。

(ⅲ) 期待水準・当初提案を大きく上回った取組

当初提案・期待水準を大きく上回った取組	施設所管所属コメント (該当あればその内容を記載)	評価点
	施設の不具合に迅速に対応するとともに、指定管理者独自の視点で施設の環境改善に努めている。	1

<評価基準>

5点:模範的かつ他施設への展開・波及
効果が期待できる取組である。
3点:大いに評価できる取組である。
1点:評価に値する取組である。

(ⅳ) 期待水準・当初提案を大きく上回った成果(※当初提案(期待水準)比+10%超えのもの)

当初提案・期待水準を大きく上回った成果 ※当初提案(期待水準)比+10%超えのもの	施設所管所属コメント (該当あればその内容を記載)	評価点

<評価基準>

該当があれば5点、なければ0点

(配点対象外) その他特筆すべき事項

指定管理者による自主的な取組で評価に値するもの、突発的な事象発生時の迅速な対応など、特筆すべき事項	施設所管所属コメント (該当あればその内容を記載)	配点対象外
	中国語対応可能なスタッフの配置や耳マークの掲示など、多様な利用者への配慮が行われている。また、有識者による人権研修、個人情報保護研修、AED研修及び避難訓練を継続的に実施し、安全・安心な施設運営に努めている。	

5 チェックシートの総括

「個別評価」(自動表示):

S=不適当がなく「得点」が95%以上

A=不適当がなく「得点」が80%以上、

B=不適当がなく「得点」が60%以上

C=不適当が1個以上又は「得点」が60%未満

モニタリングの観点	施設所管所属のモニタリング	
	個別評価 S A B C	評価できる点や要改善事項、課題に対する取組など
A 行政視点 施設の設置目的が達成でき、事業の継続性が期待されるとともに、市民の安全の確保が図られているか？	S (97 %)	協定書及び事業計画書に基づき、施設の管理運営が適切に実施されている。自主事業や企画運営委員会との連携事業についても計画どおり実施している。
B 管理・運営 人員・施設の管理、会計処理等(再委託業務を含む)が適正に実施され、快適に利用できる施設環境が整備されているか？	S (99 %)	適切な人員配置及び組織運営のもと、施設・設備の維持管理が良好に実施されている。定期的な保守点検に加え、経年劣化による設備の不具合にも迅速に対応し、さらに指定管理者独自の視点で施設の環境改善に努めている。
C サービス 平等な利用の確保及びサービス向上が図られているか？	S (98 %)	多様な利用者に配慮し、利用者ニーズを踏まえたサービス改善や自主事業を実施している。
D 市民視点 市民の声が反映される管理・運営が行われているか？	S (100 %)	利用者アンケートや意見・要望を踏まえ、施設環境やサービス内容の改善に取り組んでいる。また、ホームページやSNS等を活用した情報発信を積極的に行い、市民への情報提供に努めている。
E 効果・効率性 施設の効果を最大限発揮しようとするとともに、管理経費の削減が図られているか？	A (80 %)	利用状況や稼働率等の分析を実施しているが、利用者数は目標値を下回っていることから、分析結果を踏まえた具体的な利用促進策を実施するとともに、その効果を検証し、継続的な改善につなげられたい。
F 法令等遵守 法令や各種規則等を理解し、遵守することで、社会的責任を果たしているか？	S (100 %)	関係法令及び各種規程を遵守し、個人情報保護や情報セキュリティ対策、人権研修等の職員研修を実施している。